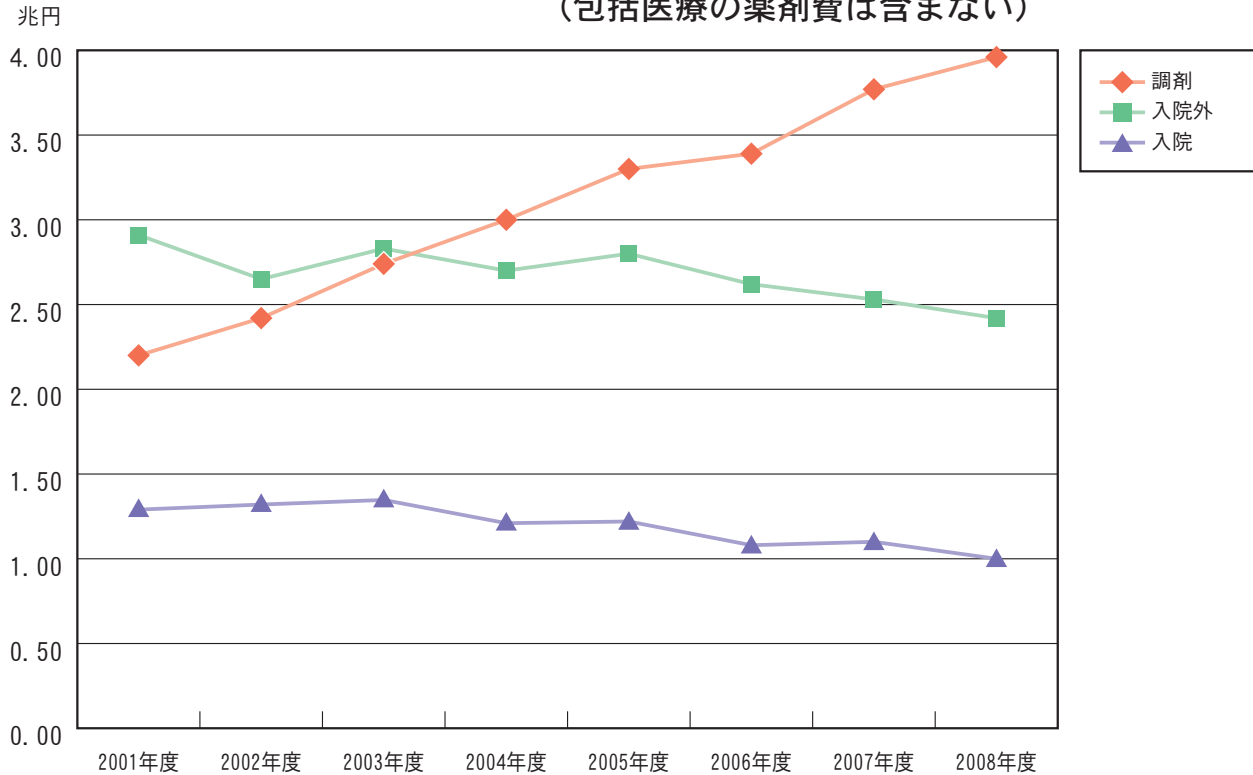


中医協資料の薬剤費の内訳と推移 (包括医療の薬剤費は含まない)



中医協資料の薬剤費の内訳

単位：兆円

	入院	入院外	調剤	中医協 薬剤費
2001年度	1.29	2.91	2.20	6.40
2002年度	1.32	2.65	2.42	6.39
2003年度	1.34	2.83	2.74	6.92
2004年度	1.21	2.70	3.00	6.90
2005年度	1.22	2.80	3.30	7.31
2006年度	1.08	2.62	3.39	7.10
2007年度	1.10	2.53	3.77	7.40
2008年度	1.00	2.42	3.96	7.39*

*2008年度は推計値

メディアスと社会医療診療行為別調査より厚生労働省と同じ考え方で作成

入院の包括比率

	医療費		レセプト件数	
	出来高	包括	出来高	包括
2001年度	87.6%	12.4%	81.9%	18.1%
2002年度	89.4%	10.6%	83.8%	16.2%
2003年度	86.5%	13.5%	82.5%	17.5%
2004年度	78.1%	21.9%	76.4%	23.6%
2005年度	76.0%	24.0%	74.6%	25.4%
2006年度	69.9%	30.1%	71.3%	28.7%
2007年度	64.5%	35.5%	66.4%	33.6%
2008年度	59.1%	40.9%	60.4%	39.6%

社会医療診療行為別調査より作成

医療用医薬品の生産額

単位：百万円

	生産額	輸入	合計
2001年	5,425,860	1,022,336	6,448,196
2002年	5,391,257	1,108,995	6,500,252
2003年	5,458,948	1,240,747	6,699,695
2004年	5,440,184	1,297,902	6,738,086
2005年	5,741,280	1,419,111	7,160,391
2006年	5,803,581	1,564,827	7,368,408
2007年	5,828,086	1,708,394	7,536,480
2008年	5,992,765	1,859,438	7,852,203

出典：薬事工業生産動態統計年報

入院の薬剤費が年々低下しているのは、包括医療の増大によるものと考えられる。入院の包括医療費は2001年度が12%であったのに対して、2008年度には40%と急速に増大している。入院外の薬剤費の低下は院内処方から院外処方への移行が進んだためと考えられる。調剤薬局の薬剤費は2001年度から2007年度にかけて約2兆円も増加している。医薬品の生産額は輸入の増加が顕著で、2008年には生産金額合計で7.8兆円に達している。